

歴史家エルリフマン著『20 世紀の人口損失:便覧』再読 -ロシアの苦境は「20 世紀の社会実験」によりエリートが絶滅したためか-

報 告 者：NPO 法人ロシア極東研・会員 佐々木 洋

V・エルリフマンは2004年、20世紀に特有な「不自然な死；戦災死・テロル死・餓死・流行病死・災害死」に伴う「人口損失」総数の推計値を世界165か国について網羅するという、世界初の『20世紀の人口損失：便覧』を上梓した。20世紀の二つの世界大戦で、最大の犠牲を被ったロシア・ソ連については広く知られる。本書が衝撃的なのは、二つの全体主義（共産主義とナチズム）に苛まれたロシア・ソ連では、20世紀の軍民戦没者総数をテロル死総数が上回り、さらにそれを餓死・流行病死総数が大幅に上回るというデータ群を提示したことにある。

本報告は、データ群のエッセンスを一覧表示するとともに、著者エルリフマンが2004年時点で述べていた、「ロシアの苦境は「20世紀の社会実験」によりエリートが絶滅したためか?」との問いかけの含意を考える。

○主催 NPO法人・ロシア極東研
北海道大学大学院文学研究院北方研究教育センター

○日時 2023年11月11日（土） 15:00～17:00

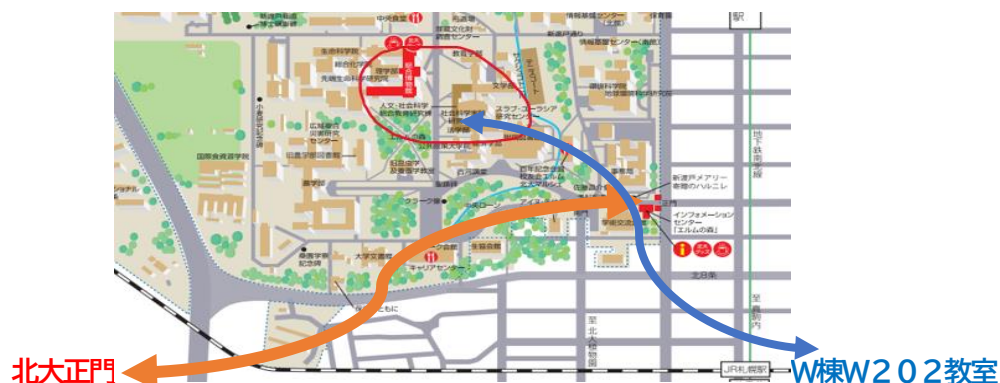
○会場・方式 対面/オンラインのハイブリッド開催
対面 人文社会科学総合教育研究棟=W棟W202教室(2階)
オンライン（ウェビナー方式）

対面&オンラインの参加申込み方法は下記

○タイムテーブル

開会挨拶：白木沢旭児・北海道大学大学院文学研究院教授	5分
報 告：佐々木洋・NPO 法人ロシア極東研	75分
コメント：所 伸一・北海道大学名誉教授・ロシア教育研究者	10分
司会進行：高田喜博・NPO 法人ロシア極東研会員 討論	30分

○研究交流会 セミナー後、希望者のみの交流会を予定



申 込 先：対面参加希望者は直接、会場にお越し下さい
オンライン希望者は mysasaki@jcom.home.ne.jp あて、11月6日までにご連絡下さい。
(11月9日まで招待状をメールします)

問い合わせ：mysasaki@jcom.home.ne.jp / ☎011-561-0258 (佐々木)